

令和6年度 第3回 葵西小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年10月11日（金） 午後1時30分から午後2時50分まで
- 2 開催場所 葵西小学校 2階 会議室
- 3 出席委員 石井 朋子、新木 智子、辻岡 和代、村井 レティシア、宮本 礼子
- 4 欠席委員 長谷川 良樹、古山 照美、
- 5 学 校 水野 希樹（校長）、古橋 智一（教頭）、夏目千香子（教務主任）、
廣瀬 高志（生徒指導主任）、工藤 敬子（CSディレクター）
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 工藤 敬子
- 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、新木委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

- （1）葵西小の子供たちの様子について
- （2）本校児童の学習・生活について

10 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）葵西小の子供たちの様子について

議長の指示により、参観に先立って行われた授業参観の感想を交えて、「聞く・話す」を中心とした学びの基本の定着を視点に、子供たちの様子について意見を出し合った。委員から、以下の発言があった。

- ・ 1年生からタブレット・パソコンを上手に使っていて驚いた。6年生のマスクの着用率が高く、体調が心配だった。3年生で英語の文章を学んでいて、小学校の英語教育が進んでいると感じた。（石井委員）
- ・ 各教室が前回の参観に比べてとても静かだった。テストを受ける時の机の配置が工夫されている。廊下が少し煩雑だったので、先生の指導が必要と感じた。廊下掲示のキャリア教育カレンダーが分かりやすく、子供たちの理解できる言葉で説明がされていると感心した。（宮本委員）
- ・ 6年生はとても落ち着いて静かで、しっかり話を聞いている様子だった。4年生では、挙手、発言、先生が説明する流れができていて、しっかりコミュニケーションができて印象を受けた。1年生の図工では、分からない子がいたら周りの子が教えているという場面があり、子供たち同士が協力している姿が印象的だった。（新木委員）
- ・ テストの配置は、先生が教室全体を見渡せて、良い工夫だと思う。4年生の廊下に、子供たちがふわふわ言葉を書いて掲示してあり、好感を持った。校舎内に廊下を歩こうと呼び掛けるポスターがあった。子供自身でポスターを描けば気を付けて歩くようになると思う。（村井委員）
- ・ 子供たちは、挙手での発言だけでなく、自由に考えを述べ、それに友達が反応し、先生がそれをうまく取り上げるという流動的なやり取りができていたと感じた。考え

る道筋や何を伝えたいのかを共有し合う温かい教室の雰囲気良かった。発表の型にとられず、子供たちの自主的な考えを話す力が育っていると実感した。(辻岡委員)
協議の結果、子供たちの学習で定着したことや、課題などを共有することができた。

(2) 本校児童の学習・生活について

議長の指示により、教務主任から、別紙資料に基づき、授業への取り組み方や放課後の過ごし方について、家庭や地域でできることについて考えてほしい旨の提案があり、委員から以下の発言があった。

(食育について)

- ・ 子供が遅く起きるために朝食を食べる時間が不十分になりがち。早く寝かして早く起こさなきゃいけないと常日頃思っている。(新木委員)
- ・ 家では子供は好き嫌いがありながらも、学校では食事を残さないことができていようだ。好き嫌いに焦点をあてるより、楽しく食べることを大事にして、楽しみながら、いつのまにか食べていた、というのが理想だと感じる。また、地域の特産品に関心を持つことも大切だと思う。(辻岡委員)
- ・ 元気になる食事をとってほしいので、それぞれの子の好みを尊重できるように個別に話し合っている。(石井委員)
- ・ 食育は大事。今はスナック菓子の摂取が多いことを心配している。実際の食事を取りながら、食材について話し合い、子供が食べる物について学ぶ機会が作れたらいいと思う。(宮本委員)
- ・ 特に親が忙しいとバランスの取れた食事を準備するのが難しい。朝食の時間を確保するために、もっと早く寝て、ちゃんと睡眠もとれるようにと、生活リズムについて子供と話をしたことがあった。(村井委員)
- ・ 食事をしながら会話が弾むので、家族がそろそろ時間を大切にしたい。(新木委員)
- ・ 朝食なら「一品増やしましょう」「野菜を一口だけ食べましょう」と提案すれば、主食に偏らない、バランスよい食事につながっていくかもしれない。(辻岡委員)

(生活リズムについて)

- ・ 子供は親の帰宅時間に合わせて生活していることもある。親の帰宅を待って宿題を始めると、寝る時間も遅くなる。生活するリズムを整えるために、帰宅したら手洗い・うがい、一人でできる学習に取り組むと決めて習慣化させたい。塾に通う時間は変えられないけれど、何を済ませておけば自由な時間が増えて、楽しい時間が過ごせるか、家族で話しながら、生活リズムを整えようとしている。(辻岡委員)
- ・ 生活リズムを整えようとする自主性を育むための方法として。子供には、今やるべきこと、一日のどこかでやることを伝え、時間や、午前午後、朝夜などの区切りをつけて、どのタイミングで行うのか、子供自身に計画を立てさせたら、生活のイメージができて、高学年の子にはできそうだと思う。(宮本委員)
- ・ 家庭でも時間に追われがちなため、学校でも慌ててしまうのではないかな。家庭で時計を見ながら、慌てなくても生活できるようなルーティンを作ればいいと思う。(村井委員)

- ・ 子供たちの眠くなる原因やイライラの原因は睡眠不足からも生じると感じる。さまざまな事情の家庭があるが「１０分早く寝て１０分早く寝きよう」というスモールステップでのアプローチなら呼びかけられそう。（辻岡委員）
- ・ 睡眠時間は十分に取れていても、眠くなる要因はある。優しい声の先生の授業で眠くなったと聞いたこともある。（村井委員）

（廊下歩行）

- ・ 家庭では、子供が自転車に乗る際には必ず声を掛けるようにしている。（石井委員）
- ・ 友達を見て走り出すこともあるので、「もっとゆっくり」や「ちょっと止まって」と、落ち着いた行動を促す声掛けをし続けることで子供の頭に入って欲しい。（新木委員）
- ・ 常に子供に安全について声掛けをし続けることが大事。学校内でも一般道と一緒に、事故にあうし、けがもする、とリスクがあることを理解させないといけないと思う。（宮本委員）
- ・ 体が大きい子は、体の小さい子にちょっとぶつかっただけでもけがをさせてしまう。だから、他人に怪我をさせないように注意深く行動するよう促したい（新木委員）

協議の結果、家庭でどのように生活リズムを整えていくか等について分析し、今後の学校運営協議会の方向性について話し合うことができた。

その他報告連絡事項等

- ・ 司会の教頭から、学校運営協議会自己評価や学校評価への協力依頼があった。
- ・ 司会の教頭から、次回開催日程について連絡があった。
第４回 令和７年２月１４日（金） 14:00～16:00 会議室
- ・ 次回議長について、全員異議なく、辻岡委員にお願いすることが決まった。